



photo : Ai Hirano

Tachibana Being vol.78

WebTB

WebTBはさらに充実

<http://www2.tachibana-u.ac.jp/webtb> January 2015

特集 就職活動 未来へ向かって走りだそう

- 02 内定者に聞く就職活動
- 04 京都橘大学の充実のキャリアサポート
- 06 Close up インターンシップに密着
- 08 内定者インタビュー
- 10 教えて先輩！ 就活座談会
- 12 ニュース&トピックス

内定者に聞く就職活動

就職を希望する学生が避けて通れない就職活動。皆さんの先輩はどのような就職活動を行い、それを通じて何を感じたのでしょうか。今回は内定を獲得した二人にお話を伺いました。



必要以上に自分を飾らず、心からのコミュニケーションを

太田 麻美 さん
文学部歴史学科 4回生
株式会社京都銀行 内定

インターシップ参加が転機に

たくさんの人と触れあうことのできる仕事に就きたい。私が就職活動を始めると、一番に意識したことがこれでした。そのため、当初は観光業界や小売業界に絞って就職活動を行っていました。

しかし、3回生の夏に京都銀行のインターシップに参加し、視野が大きく広がりました。当時は銀行業界に少し堅いイメージを持っていましたが、インターシップ中に行ったグループワークで「利用者の利便性を高めるための施策」について真剣に話し合ったり、行員の皆様のお客様に対する真摯な姿勢を拝見し、お客様とのつながりを常に考えながら働くことができる京都銀行に興味を持つようになりました。

自信が持てないから行動を

3回生になる頃、就職活動に対する強い不安に駆られました。友人が部活やサークル活動を行っているなかで、それらの活動に熱心に参加していない私は面接で話せることが少ないのではと感じたからです。当初初めて行った面接練習でも、自分の思いや経歴をうまく伝えることができず、深く落ち込んだことを覚えています。

しかし、その際にキャリアセンターの方から自分がこれまで行ってきたことをまとめた「自分史」作成のアドバイスをいただきました。私にとってこの作業が非常に楽しく気がつけば幼稚園から大学までの「自分史」を作成していました。これにより自らを冷静に振り返ることができ、面接の際の自信につながりました。また、筆記試験対策や就職ガイダンスなどさまざまなプログラムに早期から参加することで、知識はもちろんのこと、就職活動への意識の高い他学科の学生と交流することができ、自らの意識も高めることができました。

◆後輩へのメッセージ

人とのつながりを大切に

面接では、同じ授業を受講していた70代の方と親しくなったお話をしたことをよく覚えています。私がそうであったように、面接では自らの素晴らしい取り組みや実績を披露しなくてはと思っている人も多いのではないのでしょうか。しかし、誰もがそのようなエピソードを持っているわけではないと思います。無理にそのような話をしようとするのではなく、日々の生活で自分が大切にしていることをしっかりと振り返ることが重要だと思います。

私にとってそれは人とのつながりでした。知らない人に突然声をかけるには勇気が必要です。しかし、日々の挨拶から始まり、少しずつお話ししてもらえるようになる。私にとってこんなに素晴らしい、うれしいことはありません。皆さんも就職を始めるにあたり、日々の生活を振り返り、自分が大切にしていることを一度じっくり考えてみてはいかがでしょうか。



いつも楽しむことを意識すれば、新しい興味や関心に出合えるはず

川勝 俊亮 さん
現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科 4回生
株式会社JTB首都圏 内定

自分が好きなことが何かを考えて

小さい頃から、旅行やテーマパークが好きでした。そのため、自らの進路を考える際も、自分の「好き」という気持ちを大切にして観光業界を選択しました。当初は観光業界のなかでもホテル、航空会社、テーマパークなど幅広い業種を視野に入れて検討していましたが、そのなかでも観光全般に広く関わることができ、より多くの人々にさまざまな思い出を提供できるJTB首都圏に強くひかれるようになりました。

就職活動も楽しんで

学生生活では、興味があることや気になることに積極的に取り組んできました。たとえば、京都の学生がプロデュースするお祭「京都学生祭典」の実行委員としてプログラムをまとめたり、アルバイトではホテルや飲食店など、自らが関心のある分野で真剣に取り組んできました。また、授業でも好奇心をもって楽しく専門的な知識を身につけることができました。

就職活動においても同様に、「キャリアガイダンス」や「模擬面接実習」などさまざまな事前プログラムに積極的に参加しましたが、これも自分にとって義務であったわけではなく、興味があったから参加したと思っています。このように授業、就職活動、私生活に区別をつけずに、自らの興味・関心を大切にして学生生活を送れたことが、就職活動でも非常に役に立ったと感じています。

実際の選考でも、常に興味を持つこと、楽しむことを念頭において挑んだため、あまり緊張することはありませんでしたし、うまくいかないことがあっても、すぐに気持ちを切り替えることができました。

◆後輩へのメッセージ

自らの興味や関心を決めつけない

日々の生活では、自分の好きなことや関心のあることのみを行うわけにはいかないと思います。ときには、自らの将来を考え、計画を立て、今取り組むべきことをしっかりと認識することも必要だと思います。ただし、場合によってはその計画を実施することを、非常に億劫に感じることもあるかもしれません。しかし、自らの興味や関心は、必ずしも何かを始める前に気がつくものではないと思います。私も授業や課外活動への参加を億劫に感じたこともありましたが、でも、今になって振り返ると、そのほとんどの場合において、楽しく取り組むことができ、すべてが今の自分を形成する素晴らしい経験だったと感じています。

就職活動についても、やる気が出ない、気が重いと感じる人もいるかもしれません。しかし、どうせやらなければならないことなので、悩む前にまず行動すること。そして、始めたからには、好奇心をもつて、とにかく楽しんでください。

京都橋大学の 充実のキャリアサポート

京都橋大学は「自立」「共生」「臨床の知」を教学理念とし、社会に貢献できる、実践的、な学問の追求と人材の育成をめざしています。ここでは、学生一人ひとりが将来の夢や希望する進路を実現し、社会に貢献するために本学が展開しているキャリア教育について紹介します。



学生部長
人間発達学部児童教育学科
□野 隆史 教授

多くの企業や職場が
京都橋大学の学生に興味津々です！
すばらしい出会いを…

いよいよ3回生の就職活動の本格的なスタートです。長かった生徒・学生のおつきを、大人として社会に貢献し、自分の夢に向かって新たなスタートを切るときがやってきました。

京都橋大学では、学生の皆さんが自分の希望する職場で働けるよう、就職活動をサポートしています。講義では「キャリアデザイン入門」「キャリア開発講座」「キャリア開発演習」等の科目を開設し、就職活動を支援しています。

また、これから学内でも、多くの企業や職場の方を招いて「企業説明会」等を開催していきます。先輩たちの活躍もあって、今多くの企業や職場の方が京都橋大学の学生を採用したいと、本学の学生に興味津々です。企業や職場の方と会ってみてください。将来を左右する出会いがあるかもしれません。

何から始めれば良いのかと迷っている人は、まずキャリアセンター（就職進路課）へ行ってみましょう。キャリアセンターのサポートも有効に活用し、次の一歩を踏み出してください。職員の方との出会いも大切に。

Pick up! 就職進路支援プログラム

本学のキャリア教育は、正課科目である「キャリア形成プログラム」と正課外の「就職支援プログラム」が密接に連動して皆さんを体系的にサポートする体制が整っています。ここでは、就職活動をサポートする本学プログラムの一部を紹介します。

キャリア形成プログラム [正課科目]

1 「基礎教育科目群」を通じて社会に必要な力を



1回生から「基礎教育科目群」を通じて大学の学修の基本となり、社会人として必要な能力である日本語表現力、英語力、情報処理能力などを身につけます。

2 「キャリアデザイン入門」で将来を考える



2回生前期で学ぶ「キャリアデザイン入門」では、自らの性格、関心をしっかり把握し、希望進路のためにどのような力が必要かを確認します。その後、自らの希望進路に応じてキャリア履修モデルを選択し、学修を進めていくことができます。

3 「インターンシップ」で自らの成長を



単位認定型インターンシップにおいて、学業の一環として就業体験を行うことにより、自らの将来についてじっくり考えることができます。事前研修から事後学習まで数多くのプログラムを経験することで、自身の課題を認識し成長を実感できます。

4 「専門演習(ゼミ)」で実社会に通用する力を



各学部で4年間にわたって開講されるゼミは、各学部・学科の専門分野の学修を通して、実社会でも通用する力を養成し、キャリア形成につなげます。具体的には、実社会で必要とされる高度な問題解決能力、情報収集力、思考力などをゼミで養います。

就職支援プログラム [正課外]

1 「キャリアアドバイザー」による個別指導



キャリアセンターでは、3回生時に志望分野に応じて自身の担当アドバイザーを自由に決めることができます。大手民間企業で人事などを経験してきたアドバイザーの的確な助言・指導を多くの学生が受けています。

2 多彩な「就職ガイダンス」と「各種就職実践講座」



1回生から各種の就活準備講座やガイダンスを開催します。就職活動の段階に応じ、筆記試験対策や面接試験対策、ビジネスマナーなど実践的な講座を繰り返し行います。また、企業の人事担当者を招いて業界別講演会や、学内企業説明会なども実施しています。

3 「就職懇親会」などで大学教職員と父母が連携



就職支援では、大学と父母(家庭)との連携が必要不可欠です。本学では、毎年春の父母の会総会や、地区別懇談会の場で「就職懇談会」を開催。学生の就活状況の報告、子どもとの接し方に至るまで幅広く情報交換や共有を行い、総合的に学生を支援しています。

4 「4回生就活オリター」が下回生の就職活動を支援



下回生の就活支援を目的として、4回生就職決定者が就活オリターとなり、就職ガイダンスやキャリア系科目で自らの体験談を話したり、相談等に答えます。そのほか3回生以下の不安軽減や質問に答える「就活Theだんかい」も定期的にも実施しています。

就職進路支援プログラム 1回生から4回生まできめ細かな進路・就職指導を実施

	1回生	2回生	3・4回生
前期	入学式[キャリア講演会](4月) 学生生活ガイダンス(4月) キャリアテスト(4月) 時事入門セミナー(7月)	インターンシップ事前研修(5~7月、2・3回生) 時事入門セミナー(7月) サマーインターンシップ(8~9月、2・3回生)	キャリアテスト(4月) 就職ガイダンス(5月・7月) 就職サイト登録会(5月) キャリアステップセミナー(6月) SPI模試&解説講座(6月) SPI対策夏期集中講座(7月~8月)
	(正課科目) 【日本語表現Ⅰ】 【数学演習Ⅰ】 (課外講座) 【就活基礎力講座】	(正課科目) 【キャリアデザイン入門】 【キャリア開発講座Ⅱ】 【キャリアコミュニケーションⅠ】	(正課科目) 【キャリア開発研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ】
後期	インターンシップ報告会(10月) 業界別講演会(11~12月)	キャリアガイダンス(10月) インターンシップ事後研修(10月、2・3回生) インターンシップ報告会(10月) 業界別講演会(11~12月)	就職ガイダンス(9月・11月・1月) 企業研究入門セミナー(10月) 業界別講演会(11~2月) 学内企業説明会(3月) SPI模試&解説講座(7月・11月・1月) 就職活動マナーセミナー(12月) 自己分析・エントリーシート対策セミナー(10月)
	(正課科目) 【日本語表現Ⅱ】 【数学演習Ⅱ】 【時事問題研究】 (課外講座) 【就活基礎力講座】	(正課科目) 【キャリア開発演習Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ】 【キャリアコミュニケーションⅡ】 【キャリア開発講座Ⅲ】	(正課科目) 【キャリア開発研究Ⅳ・Ⅵ】

※このほかにも教員希望者支援プログラムや各種試験対策・資格取得支援講座など多様なサポート制度がそろっています

ポイント! 就職活動といえば3回生からという考えを持っている人も多いかもしれませんが、就職活動の「根」を育てるには、1回生からの取り組みが非常に重要です。

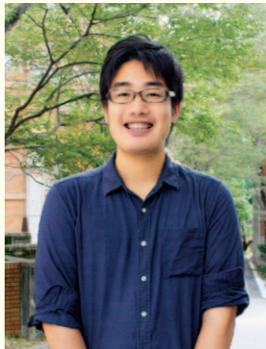


就職・進路のことで
困ったときは
キャリアセンターへ

キャリアセンターでは、在学生や卒業生の就職や進学などの進路を、きめ細かにサポートしています。民間企業や公務員の採用に関する情報提供、筆記試験対策講座、企業説明会や業界別講演会、就職ガイダンスなどを実施しています。キャリアカウンセラーの資格を持つスタッフをはじめ、進路支援を担当する専門スタッフが常駐していますので、エントリーシートや履歴書の書き方、企業研究の方法、面接の練習など、就職活動に関する疑問や悩みなど何でも気軽に相談しに来てください。

また、キャリアセンターでは、就職関連の資料や図書、雑誌、新聞などを豊富にそろえた資料室と、インターネットによる求人情報を迅速に収集できる情報検索室を併設しています。

内定者の多くがキャリアセンターを積極的に利用しています。ぜひ、足を運んでください。



二宮 勇司 さん
現代ビジネス学部
現代マネジメント学科 3年生

京都電子計算 株式会社 編

Q.京都電子計算株式会社をインターンシップ先に選んだ理由は？

パソコン(PC)やインターネットを駆使してさまざまなソリューションを提供している企業なので、これからの時代、より活躍の場を広げられるであろうと感じ、興味を持ったからです。

Q.インターンシップではどんな業務をしましたか？

2週間のインターンシップでしたが、1週目はソフトウェアマニュアルの更新、2週目はお客様のところへ行ってPCのソ

フトウェア、OS更新の補助を行いました。業務を遂行するにあたっては、自主性と積極性が必要であると感じました。

Q.参加して参考になったことは？

実際の職場の雰囲気は、私が当初想像していたものと違いました。PCを利用した業務が中心ということで、就業前は、各々が黙々と作業をされているものだと思っていました。実際は皆さん、お互いにさまざまなお話し、意思疎通を図りながら業務を行われていることがわかりました。今回の経験を通じて、コミュニケーションの大切さを再認識し、自らのコミュニケーション能力や方法について再度考える機会となりました。

Q.就職活動にどのように活かしますか？

今回の経験を通して、各企業について先入観で業務内容や内部体制を判断するのではなく、実際に調べて聞いて、根拠とともに実態を把握することの大切さに気がつきました。今後の就職活動でも、企業を名前やイメージ、規模だけで判断することがないように、積極的にセミナーや説明会に参加していきたいと思います。また、今回の経験で私自身、PCやインターネットを活用したソリューションの提供や、情報処理を行う業務に強く興味を持ち、このような業務に携わることができる仕事を軸にして就職活動を行おうと思います。

Q.後輩に送るメッセージ

インターンシップは、希望する業務を体験するなかで、自らの現在の能力を確かめることができるプログラムです。今の自分を見つめ直し、足りない部分を把握し補おうとするきっかけとなる素晴らしい機会です。少しでも興味があれば、そのチャンスを逃さず、ぜひチャレンジしてみてください。



企業・学校への営業同行
支店内業務だけでなく、営業同行の機会もいただきました。今回、インターンシップを体験したのが、個人営業ではなく、企業などへの団体営業を主にしている部署だったので、社員旅行や修学旅行の営業などさまざまな提案現場を体験させていただきました、とても刺激的な業務だと感じました。この営業の同行の経験を通して、「旅行」という形のないものを販売するには、お客様の要望をうまくみ取るのが、いかに大切であるかを実感しました。

インターンシップを終えて

インターンシップに参加したことによって、実際に働いている社員の皆さんの仕事に対する姿勢や仕事の楽しみ方、仕事の難しさやそれを乗り越える努力の大切さ、お客様に喜んでいただけたときの達成感など、さまざまなことを拝見・実感しました。これは実際に就職して働いてみるか、インターンシップに参加するしか体験できないことだと思います。私は就職活動に対して後ろ向きに物事を考えがちでしたが、仕事の楽しさや現場の臨場感を体験し、仕事や就職活動に対して前向きに考え行動ができるようになりました。また、営業同行の折に実感したお客様の要望をくみ取ることの大切さを忘れずに、今後の就職活動でも企業がどういった人材を必要としているかを常に考えながら取り組んでいきたいと思っています。



支店での営業サポート
支店では、主に営業サポートを行いました。社員の方からいただいた、大まかな旅行行程表を、お客様に渡すための資料に整えていく作業を体験しました。お客様に渡す旅行行程表は、パソコンで丁寧に作成し、さらに旅行先の飲食店やお土産屋さんの資料も作成しました。お客様にとって、どのようにまとめればわかりやすいかなどを考えながら作成しました。また、お客様からの電話の取り次ぎもさせていただきました。一人でお客様と会話をする体験だったので、この業務が一番緊張しました。

インターンシップ先での主な就業体験

株式会社日本旅行 編



長谷川 優夏 さん 文学部歴史学科 3年生

インターンシップに参加しようと思った理由

今までに多くの接客業のアルバイトをしてきましたが、私がしている業務と社員の皆さんがしている業務の質や量に大きな差を感じていました。この差がどうして生まれるのか、私には何が足りないのかを知りたいと思い、インターンシップへの参加を決めました。参加する企業を選ぶにあたっては、アルバイトでは感じるができない責任の重さや、自らの能力を再認識できる企業であるということに加え、「旅行」という見えないサービスを提供していることに興味を持ち、日本旅行に応募しました。

インターンシップって何？

インターンシップとは、学生が就職前に一定期間企業などで仕事をすることです。本学では「事前研修」「就学体験」「事後研修」を一つの講座とし、本学が協定を締結している企業、行政、NPO法人、図書館、公共施設等で就業体験を行っています。インターンシップへの参加は3回生を基本としていますが、2回生の参加も可能です。早期から社会との関わりを経験することで、自己表現の方法として職業をとらえ、就業観を確立します。

この人に任せたいと思われる人になってください

旅行業はサービス業です。サービス業は人と関わる仕事です。人とどれだけ会話ができるか、会話することによって理解し合えるかが非常に重要です。インターンシップでは旅行業に関する知識を身につけてもらうというよりは、社会人として必要とされるコミュニケーション能力や、先輩社員の姿を見て社会人として大切なのは何かということを学んでもらいたいと思っています。

また、インターンシップは学生だけでなく、社員にとっても非常に有益な取り組みだと感じています。学生に直接指導するのは若手から中堅の社員が多いのですが、学生に正しい社会人像を見せるために努力し、学生の前でいい結果が出せるように頑張っており、社内の雰囲気も向上しています。ぜひ、先輩社員の雄姿を見ていただき、社会人としての姿勢や考え方を学んでください。

サービス業界では、「どれだけ人にいい印象を与えることができるか」がとても大切なこととなります。就職活動においても同様に、第一印象は大事です。学生や新人に、仕事がすぐにできることを求めています。この人に任せたら一生懸命にやってくれそうだと、信用できそうだと、思わせてくれる人を、会社もお客様も求めています。相手のことを考えて丁寧に行動することや、組織内での連携が重要です。これらのキーになるのがコミュニケーション能力です。学生時代からいろんな世代の人と話をし、話を聞くという体験を積極的に行ってください。

株式会社日本旅行
西田さんに聞きました！



株式会社日本旅行
京都四条支店 副支店長
西田 秀孝 氏

内定者インタビュー

先輩たちはどのような就職活動を行ったのでしょうか。
キャリアセンターや就職支援プログラムをどう活用したのでしょうか。
希望の就職を得た先輩たちからのメッセージをお届けします。

※2016年度卒業生(現3回生)の就職・採用活動時期は今回の内定者のスケジュールと異なり、後ろにずれています。詳しくはキャリアセンターにお尋ねください。



木村 友哉 さん
現代ビジネス学部
都市環境デザイン学科 4回生

- ▼ 積水ハウス株式会社 内定
- ▼ Webエントリー 社数
- ▼ エントリーシート(EIS)を提出した社数
- ▼ 企業説明会に参加した社数
- ▼ 合同説明会に参加した回数

2 15 30
回 社 社

企業研究をしっかりと行う

大学での専攻を活かせる建設業界で働きたいと思っていました。住宅や商業施設の建設、都市開発などを行っている企業に絞って、準備をしました。企業研究では、その企業が特に力を入れている事業やCSR(企業の社会的責任)活動をチェックし、企業についての理解を深め、自分自身の志望動機をしっかりと話せるようにしました。私は、地域の方々や大学の先生、学生と連携し、間伐材を使った箸置きや簡易な机を製作するなどのまちづくり活動を行っていたので、エントリーシート(EIS)や面接でそれらの活動を書いたり話せたりできるのは強みでした。

自分がやってみたいことをベースに考える

就活を意識したら、まず自分がやりたい仕事を見つけてください。何をしたいのか、それを実現するためには、どこの会社に入ればいいのかがわかると、行動しやすくなります。そして、希望する業界や企業が決まったら、採用選考から逆算してスケジュールを立てていきましょう。そうすると、自分のやるべきことがよくわかります。書類は、提出期日より早めに準備しておくことが大切です。就活することを苦と思わず、楽しんで取り組んでください。



渡辺 唯 さん
文学部
日本語日本文学科 4回生

- ▼ 株式会社ケイ・オプティコム 内定
- ▼ Webエントリー 社数
- ▼ エントリーシート(EIS)を提出した社数
- ▼ 企業説明会に参加した社数
- ▼ 合同説明会に参加した回数

3 50 20
回 社 社

早くから準備しておく

2 回生後期から就職を意識し、SPI対策や模擬面接などのキャリア形成に関する講座を受講していました。就活に対する不安があり、準備できることは早くしておこうと思っただからです。何より力を入れたのは、企業への最初のアピールとなる履歴書の作成です。就職・採用活動開始までに、きちんと整った良いものに仕上げたかったので、何度もキャリアアドバイザーの方に添削をお願いしました。その結果、書類選考で落ちることはほとんどなく、最終的に3社から内定を得られました。

キャリアセンターを活用する

キャリアセンターが開講する講座には、必ず参加していました。京都橋では、SPI試験をはじめ、学内で開かれる企業説明会や各種セミナーなど、手厚いサポート体制が整っています。開催講座数や回数も多く、どの講座も就活に役に立ったので、ぜひとも活用するべきです。また、個別面談もできるので、気軽に相談がしやすいです。そうした早からの準備が大事です。幅広く業界・企業研究をして、先入観にとらわれずに自分に合った企業を見つけてください。それが見つかれば、後は行動力あるのみです。



岡本 直斗 さん
現代ビジネス学部
現代マネジメント学科 4回生

- ▼ 株式会社たけでん 内定
- ▼ Webエントリー 社数
- ▼ エントリーシート(EIS)を提出した社数
- ▼ 企業説明会に参加した社数
- ▼ 合同説明会に参加した回数

1 30 1560
回 社 社

あこがれの航空業界へ

小学生の頃から憧れていた客室乗務員(CA)を志望していました。選考を重ねるうちに、空港内で働く地上勤務職員(GS)の仕事にも興味を持つようになりました。CAだけに絞らず、GSの選考も受けた結果、GSで内定を得ることができました。航空業界では、英語が必須です。CAだけでなく、GSでも語学力が重視されます。多くの会社では、TOEICのスコアが採用基準に達していないとエントリーすらできないので、航空業界をめざす人は、英語力を上げるために、早くから勉強をしておくことをおススメします。

いつも笑顔を保てよう

外資系航空会社も受けていたので、ゼミのアンガス先生に英語の履歴書の添削や面接練習の協力をしていただきました。同じ学科の友人も航空業界を志望していたので、同じ目標に向かって頑張る励みになりました。面接では、身だしなみと姿勢に気をつけ、常に笑顔で受け答えすること、相手に聞き取りやすい速さで話すことを心がけました。また、日頃から新聞を読み、エアライン関連のニュースや世の中の動きを知り、自分の考えを持つようにしておくことが大切です。

人材育成に力を入れている企業で働きたい

大学に入学した頃から就職を意識していました。当初は家電業界の営業職に興味があり、選考を受けていました。選考が進むうちに私が望んでいた新規開拓営業ではないと知り、他の業界も視野に入れて就活を行いました。できれば、ジョブローテーションを取り入れて、さまざまな職務の経験を積み、仕事を通して自分が成長できる企業がいいと思いました。ケイ・オプティコムは、他社の商品も尊重しつつ自社の良い点をお客様にお勧めする営業方針に共感できたこと、人を育てようとしてくれる企業だったので、この会社なら人としても成長できると思いました。

筆記試験の対策は大事です

SPI対策は大事です。自分を見てもらう前の通過点になるので、しっかりと勉強しましょう。私は大学で開講されるSPI講座に参加し、自分の得意な分野を集中的に勉強していました。また、面接後には、その内容を必ず思い返し、面接官の名前、面接形態、どのような質問をされて、反応はどうだったかなどをメモしていました。次の選考で、名前とお礼を必ず言うようにするなど、印象に残るように工夫していました。自分に合った方法を見つけ、就活に取り組んでください。

幅広くいろいろな業界を知る

初めは公務員志望でしたが、4回生の8月くらいから民間企業に変更しました。さまざまな企業を見てみたいと思い合同説明会などに参加し、学校運営プロデュースなどの教育機関コンサルティング業務を行う成基コミュニケーションを知りました。聞いたことがない業種だったのですが、学校の発展に寄与する業務に携わってみたいと思い志望しました。将来は、プロジェクトの中心となって活躍できる人材になれるように力をつけていきたいですね。

前向きな気持ちで選考に臨む

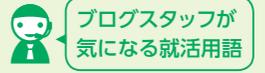
大学生活ではハンドボールサークルを通じて、他学部の学生とつながりが持てました。就活中は、お互いの就活状況を話したり、体を動かすことでストレス解消にもなりました。また、サークル活動中に私の気になるクセを指摘してもらうなど、自分の性格を知る手がかりにもなりました。悪いクセは、面接で出てしまうので、意識して気をつけるようにしていました。面接は実践で経験を積むといいと思います。何度か受けると面接の流れがわかり、慣れるようになります。そして、表情を明るく、前向きな気持ちで臨むことがいい結果につながると思います。



北山 友貴 さん
文学部
文化財学科 4回生

- ▼ 株式会社成基コミュニケーション 内定
- ▼ Webエントリー 社数
- ▼ エントリーシート(EIS)を提出した社数
- ▼ 企業説明会に参加した社数
- ▼ 合同説明会に参加した回数

4 10 5 30
回 社 社 社



ブログスタッフが
気になる就活用語

[ES] エントリーシートのこと。就活時に企業へ提出する応募書類のようなもの。企業の採用HPからのダウンロードや説明会での配布等、企業側から直接入手するしかなく、市販では取り扱っていない。「志望動機」「入社してからやりたいこと」「〇年後の自分はようになっていたいか」など、長文を必要とする内容が聞かれることが多い。

[履歴書] 学業や職業の経歴、資格免許などを記した書類のこと。市販と大学指定のものがあり、大学指定のものはキャリアセンター（就職進路課）で入手できる。企業の1次選考に用いられることが多い。

[SPI] 企業が就職試験で受験者の能力を測るため行う適性検査で、現在、多くの企業が採用している。適性（性格）テストと能力テスト（国語と数学）で構成される。適性テストは設問に対して直感的にイエス、ノーで答える形式。能力テストはできるだけ早く正確に答えられることが求められる。

[玉手箱] 日本SHL社が提供するWEBテストのこと。業種・業界問わず多くの企業が導入しており、「言語」「計数」「英語」「パーソナリティ」の問題から構成される。また、事前に情報がなく、会場へ行ってみなければどのような内容かわからない試験の総称としても使われる。



内定先
京都北都信用金庫
小長谷 瞳 さん
現代ビジネス学部
現代マネジメント学科
4回生



内定先
滋賀特機 株式会社
今井 快太 さん
文学部
歴史学科 4回生

お二人が就職を意識し始めた時期ときっかけを教えてください。

今井 就職を強く意識し始めたのは、3回生の12月初旬です。インテックス大阪で開かれ

た合同企業説明会ですね。そこで企業の多さと参加している学生の多さを実際に見て、「これはやらない」と感じたのがきっかけです。小長谷 私は3回生の夏頃です。4回生の先輩から就活体験の話聞いたときに、就活はきつとどうかなると思っはいけないと、そのとき初めて本当の「焦り」を感じました。就活に対して不安だったので、10月から面接や履歴書の作成を始めました。

的に書いたのは12月中頃だったと思います。小長谷 12月下旬でした。ESに限らず履歴書にも言えることですが、「学生時代に頑張ったこと」や「自己分析」の二つが絶対に聞かれました。ですから、この項目は完璧にまとめておきました。そうしたら、どんな質問でもその二つを軸に書くことができました。

自己分析はどのように行いましたか？
今井 自分のことを一番理解している親に、良い所や悪い所を書き出してもらいました。ほかに、アルバイト先の社員さんや仲間に客観的な意見を聞くようにしていました。

今井 地元で就職したいと思っていたのと、4年間務めることができるのかを考えて、この会社ならできると思ったからです。小長谷 京都にある地域に密着した信用金庫に就職が良かったので決めました。選考を受けたなかでも、積極的に地域とのつながりを持ち、それを大事にしているからです。

焦りや不安を解消するためにしていたことは？
今井 就活中は、肉体的にもそうですが、精神的なダメージがとても大きかったので、親に話を聞いてもらうことが多かったですね。私のリラックスマethodはコーヒーを飲んで雑誌を読むこと。1日休みがあれば、家にこもってコーヒーを飲んでいました。

今井 就活中は、肉体的にもそうですが、精神的なダメージがとても大きかったので、親に話を聞いてもらうことが多かったですね。私のリラックスマethodはコーヒーを飲んで雑誌を読むこと。1日休みがあれば、家にこもってコーヒーを飲んでいました。

たちばなプロフ スタッフ presents

教えて先輩！就活座談会

就職が決まった先輩から「今だから話せる」就活のことを語ってもらいました



山岡 祐斗さん
人間発達学部
児童教育学科 1回生

加藤 佳恵さん
文学部日本語
日本文学科 1回生

高橋 瑠星さん
文学部歴史学科
3回生

石田 祐里さん
看護学部看護学科
1回生

大山 朱音さん
文学部日本語
日本文学科 1回生

情報を集めず、対策もしていなかったの、筆記試験で落ちたことがあります。キャリア資料室に企業ファイルがあるので、どのような試験内容を調べ、対策をとるべきでした。
小長谷 自分を客観的に見ることで、親や友人に聞き、それをもとに行いました。また、人からありがとう言われたときに、自分は何をしていたのか、自分の行動の理由を考えました。
今井 10月にキャリアセンター主催の「ES対策講座」に参加したときでしょうか。本格的にESを書き始めた時期はいつ頃ですか？
今井 また、その対策はどのように行いましたか？
今井 10月にキャリアセンター主催の「ES対策講座」に参加したときでしょうか。本格的にESを書き始めた時期はいつ頃ですか？

遅刻をしたら門前払いです。社会での一般常識、礼儀といったものを今のうちから意識しておくと思います。
小長谷 3回生へのアドバイスは、早めの準備です。これから自分がやりたいと思っている仕事に対して、準備ができる貴重な時間なので、悔いのないようにしてほしいです。1、2回生には時間を有意義に使ってほしいですね。授業を受けている時間や友達と話している時間、自分が今まで過ごしてきた時間が、すべて「自分」を形づくるものになります。ただ毎日をなんとなく過ごすのではなく、時間を大切に考えながら過ごしてください。

楽になってスッキリしました。アドバイザーの方には、どんな話でも親身に聞いていただきました。



今井 早めの準備をしていなかったことかな。時間のあるときに履歴書などの提出書類を書いておくことをおススメします。小長谷 選考試験に関する

小長谷 気軽に行ってください。私は就活でうまくいかないときに行き、前を向かせてもらっていました。就活したら存在の大きさがわかります。これほど真剣に一緒に考えられるキャリアセンターはほかにないと思います。京都橋大学で良かったと思います。
今井 普段から「遅刻しない」習慣をつけること。理由があれば別ですが、会社説明会で



編集後記

就活はまだ先のことだと思っていました。わからないことが多く、不安に思っていました。京都橋には就活を全力でサポートしてくれる体制が整っていることを知りました。今回の座談会を機に、キャリアセンターに足を運びたいと思います。



ブログスタッフが
気になる就活用語

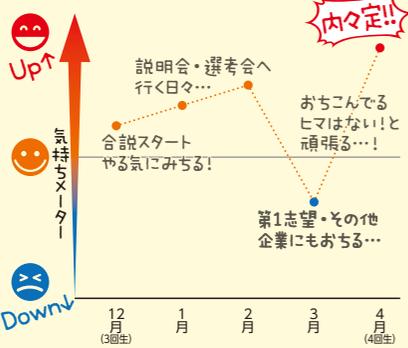
[合同企業説明会] 複数の企業が一つの会場に集まり、各ブースで企業の説明をする説明会。会社の概要説明と企業説明会の案内がメインになることが多い。合説と略される。

[企業説明会] 個々の企業が単独で行う説明会。合同説明会より詳しくその会社を知ることができる。企業によっては企業説明会に出なければ、その後の選考に進めないこともあり、実質的に、選考過程の一部になっている場合もある。

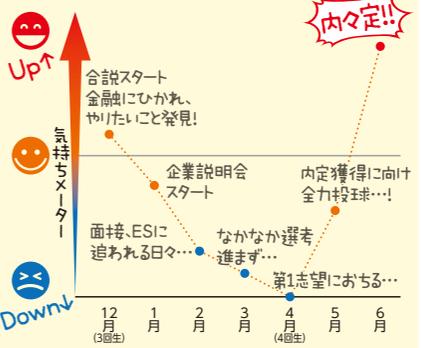
[学内企業説明会] 大学内で行われる合同企業説明会。企業の採用担当者が、大学に向向いて会社説明会やセミナーを行う。初期の就職活動にはもってこいのイベントで、多くの大学では3・4回生を対象に実施している。学内で話が聞けるため、気軽に友人と参加することもできる。また、大学のOB・OGが説明に来ることもあり、合同企業説明会や企業説明会などでは聞きにくい情報を得られることも。

[GD] グループディスカッションの略で、集団での討論形式の選考試験。従来の筆記試験、個人面接、集団面接では把握できない協調性、リーダーシップ、傾聴力といった対人能力を見ることを目的としており、論理性、知識といった個人の資質も見られる。テーマが時事問題になることもあり、日頃から新聞やニュースを通して知識を深めておく必要もある。

今井さん 気持ちの浮き沈みグラフ



小長谷さん 気持ちの浮き沈みグラフ



■ 京都市、醍醐中山団地町内連合会と連携協定を締結



2014年10月30日(木)、本学と京都市および醍醐中山団地町内連合会が、醍醐中山団地の地域活性化に寄与する取り組みを目的とした連携協定を締結しました。2014年10月30日(木)に、京都市役所において、京都市長の門川大作氏と醍醐中山団地町内連合会会長の温井嘉治氏、本学の細川涼一学長の三者による協定締結式を開催しました。

本取り組みでは、本学が京都市より京都市醍醐中山市営団地の第11棟1階部分を無償で借り受け、活動拠点として「京都橋大学地域連携センター」の分室を開設。本学の学生や教員が、住民の方々と交流や地域貢献活動を通じて、地域コミュニティの活性化に取り組みます。また、留学生を含む最大9人の学生が、ルームシェア形式で居住し、住民として団地の行事などにも参加します。

このように大学が市営住宅の空き住戸を活用し、そこに学生が居住し、住民との協働により団地の活性化に取り組む事業は、全国初の取り組みです。この事業は、2015年4月から本格的にスタートします。

■ 学生書道のグランプリ「全日本高校・大学生書道展」で最優秀校を獲得！



学生書道のグランプリを選ぶ「第19回全日本高校・大学生書道展」(公益社団法人日本書芸院・読売新聞社主催)の入賞者が発表され、本学は団体賞の頂点である最優秀校(大学の部)に輝きました。本学の最優秀校受賞はこれで10回目となりました。

個人賞では、本学から最高賞の書道展大賞3点をはじめ、書道展賞に19点、最優秀賞に32点が選ばれました。大賞を受賞したのは、次の3人です。

【かな部門】大村 里歩(文学部日本語日本文学科書道コース4回生)

【漢字部門】田中 里佳(文学部日本語日本文学科書道コース4回生)

【漢字部門】平賀 可純(文学部日本語日本文学科書道コース1回生)

2014年9月24日、文学部日本語日本文学科書道コースの学生たちは、団体賞最優秀校に選ばれた喜びを、梅本裕理事長と細川涼一学長に報告しました。

■ 第7回やましな駅前陶灯路を開催



2014年10月11日(土)、清水焼と灯りのイベント「第7回やましな駅前陶灯路」が開催されました。多くの地域住民や観光客が訪れ、秋の夜の幻想的な散策を楽しみました。

今年のテーマは、「翔 SHO ~未来に羽ばたく清水焼の灯り~」。山科駅前の会場には、山科の自然と野鳥を陶灯路の灯りで表現したカワセミ、メジロ、シラサギ、セキレイの4つのゾーンが設けられ、工夫を凝らして並べられた清水焼や切り子ガラスのろうそくの灯りが揺れていました。また、メイン会場のカワセミゾーンでは、ギターやウクレレ、二胡などによる音楽ステージが行われ、参加者が耳を傾けていました。

「やましな駅前陶灯路」は、2008年から始まり、現在では山科の恒例行事になっています。京都橋大学、京都シティ開発(株)、清水焼団地協同組合、山科区役所などで組織する「やましな駅前陶灯路実行委員会」が企画・準備を行い、当日は、本学現代ビジネス学部の学生たちが運営や緊急時対応の中心となって活躍しました。

■ 京炎そでふれ!部 Tacchiが京都学生祭典の全国おどりコンテストで優勝!



本学の京炎そでふれ!部 Tacchiが、2014年10月12日(日)にみやこめっせ(京都市左京区)で開催された第12回京都学生祭典の京炎そでふれ!全国おどりコンテストの京炎そでふれ!部門で見事に優勝を飾りました。

祭典のグランドファイナルでは、平安神宮境内にある特設ステージで、優勝チームとして迫力ある演舞を披露しました。

「京炎そでふれ!」は、第3回京都学生祭典から生まれたオリジナルの創作おどりです。京都の通り名唄や祇園小唄をアレンジした曲に、歌舞伎や能、舞妓さんをイメージした振り付けで、留袖をリメイクした衣装を着て、四竹(よつたけ)という竹の鳴物を手に持って踊ります。京都の大学に12チームあり、1000人以上の踊り手が所属しています。